

平成 21(2009)年度
豊中市安心生活創造事業 報告書



社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

はじめに

今年度、厚生労働省のモデル事業「安心生活創造事業」が全国53の地域福祉推進自治体で実施されることとなり、大阪では唯一、豊中市が指定され事業実施することとなりました。

豊中では、市社会福祉協議会が市より事業委託を受けて「ひとり暮らしの不安」という新たな課題に向けて「75歳以上のひとり暮らし高齢者のアンケート調査」「安心協力員派遣サービス」「ひとり暮らし応援事業者ネットワーク会議」など新たな支え合いの仕組みづくりに取り組みました。

そこで、今年度の取り組みの概要をまとめ、今後のよりよい事業展開につなげていくことを目的に報告書を作成しました。

推進委員会にご参画いただきました委員のみなさま、民生・児童委員、校区福祉委員会、そして応援事業者としてご参画いただきました事業所のみなさま、安心協力員の方々をはじめ、広く市民のみなさまに本事業の趣旨が深まり、さらなる事業の発展のための資料としてご活用いただければ幸いです。

2010年 3月

社会福祉法人豊中市社会福祉協議会

目次

1. 会議	1
2. ひとり暮らし高齢者アンケート調査	3
3. 安心協力員養成研修	10
4. 安心協力員派遣事業コーディネート	11
5. ひとり暮らし応援事業者ネットワーク会議	12
6. イメージイラスト・シンボルマークの募集	13
7. 広報、啓発	13
8. 事業趣旨説明	13
資料	14

1. 会議

(1) 安心生活創造事業推進委員会

年月日	場所	参加者数	内容
21.10.14	豊中市すこやかプラザ 1階多目的室	27人	・委員長、副委員長選出 ・安心生活創造事業の趣旨説明 ・豊中市の安心生活創造事業の具体化 ・ひとり暮らし高齢者の調査実施について ・意見交換
22.3.23	豊中市すこやかプラザ 1階多目的室	22人	・安心協力員養成研修について ・ひとり暮らし高齢者アンケート調査について ・ひとり暮らし応援事業者ネットワークについて ・イラストイメージ選考

(2) 庁内連絡会議

年月日	場所	参加者数	内容
21.10.13	豊中市役所	10人	安心生活創造事業の趣旨説明
22.2.25	生活情報センター くらしかん3階会議室	10人	安心生活創造事業の進捗状況について

(3) 全体研修会

①日時

平成21年12月8日(火)14:00～16:30

②場所

豊中市立アクア文化ホール

③参加者 400名

民生・児童委員会、校区福祉委員会、ひとり暮らし老人の会、介護相談員、安心生活創造事業推進委員会、小地域福祉ネットワーク推進委員会、安心協力員希望者、ひとり暮らし応援事業者(企業・団体ボランティアネットワークとよなか、豊中市商店会連合会、豊中市小売市場連合会)、行政関係者

④内容(敬称略)

・講演

「これからの地域福祉を考える～自分たちが創る自分たちの地域～」

厚生労働省社会・援護局 地域福祉課長 寺尾 徹

・概要説明

「豊中市安心生活創造事業について」

・パネルディスカッション

「大都市部におけるひとり暮らし高齢者の実態に迫る」

コーディネーター 牧里 每治(関西学院大学教授)

パネラー 中村 章子(第2地区民生・児童委員協議会)

荻野 耕藏(ひとり暮らし老人の会)

上野 宏子(ボランティアグループ「聴くの会」)

中 秀俊(大阪北生活協同組合)

中井 正平(豊中市消防本部)

コメンテーター 寺尾 徹(厚生労働省社会・援護局地域福祉課長)

斉藤 弥生(大阪大学大学院准教授)

(4) シンポジウム「あすの地域福祉を考える市民の集い」

①日時

平成 22 年 3 月 15 日(月)9:30～12:00

②場所

豊中市すこやかプラザ 1 階多目的室

③参加者 80 名

校区福祉委員会、民生・児童委員、ボランティア団体連絡会、一般市民、地域福祉活動推進委員会メンバー

④内容 (敬称略)

テーマ「地域福祉計画で町が変わる地域が変わる」

・ミニ講座「豊中の地域福祉計画の特徴」

牧里 每治(関西学院大学教授)

・今年度の地域福祉計画の取り組み

○地域福祉権利擁護センター

猪熊 浄(豊中市精神障害者家族会ゆたか会 会長)

○地域福祉活動支援センターの一年

能田 美貴(東豊中地域福祉活動支援センター北中部 CSW)

○豊中市 2 年目職員研修

豊中市職員

○安心生活創造事業

山本 拓昌(ASA 豊中西)

○ボランティアかるた

桜塚高校美術専攻有志

2. ひとり暮らし高齢者アンケート調査

(1) 概要

①調査目的

ひとり暮らしの高齢者が地域で安心して暮らしていけるよう、市が新たに開始する「安心生活創造事業」の対象者の把握や、また、困りごとがある人々を様々な福祉施策に結び付けていくことができるよう調査することを目的とする。

②調査対象

平成21年(2009年)10月1日現在、住民基本台帳において75歳以上で、在宅で生活されているひとり暮らしの方(*介護保険の申請をしている人を除く)

③調査方法

市・市社会福祉協議会・学識経験者で協議し作成した調査票を、ひとり暮らしの高齢者宅へ民生・児童委員が届けて、郵送にて返送いただく方式

④調査期間

平成21年(2009年)11月23日～平成21年(2009年)12月15日

⑤回収状況

- ・調査対象 6,734人
- ・回収数 3,649人(内有効回答数は3,562人)
- ・回収率 52.9%

⑥集計方法

校区別に分類し、市社会福祉協議会にて、単純集計およびクロス集計を行った。
分析は、大阪大学大学院人間科学研究科准教授 齊藤弥生先生にお願いした。

(2) フォロー体制

調査項目の中で、各サービスを利用希望している人およびフォローを要する世帯に対して調査と平行して関係機関でフォローを行った。

フォロー内容	人数	フォロー担当者
①緊急対応ケース(自由記述より)	8人	市社協 CSW
②ふれあいサロン希望者	662人	校区福祉委員会
③ひとり暮らし高齢者の登録希望者	1,130人	民生・児童委員
④重度障害者など安否確認事業希望者	1,182人	民生・児童委員
⑤ひとり暮らし老人の会入会希望者	835人	民生・児童委員 校区福祉委員会
⑥安心協力員希望者	1,062人	地域福祉コーディネーター
⑦安心協力員を希望せず、さらに緊急時支援者がいない人	165人	市社協 CSW

(3) 全市への広報

賛助会費募集時に、安心生活創造事業の啓発チラシを市内全戸配布し、事業の周知をはかる。

(4) 調査依頼状および調査票 別紙

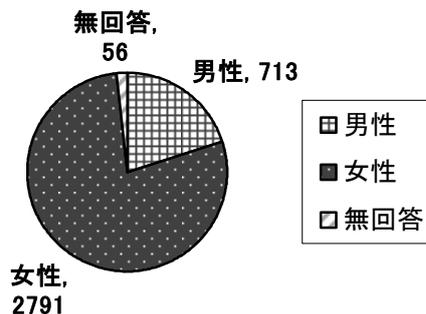
※ブロック分け

- 第1ブロック) 北西部： 大池、刀根山、桜井谷（桜井谷・桜井谷東）、蛍池、箕輪
北中部： 野畑、上野、少路・北緑丘、東豊中、東豊台
- 第2ブロック) 北東部： 上新田（新田・新田南）、東丘、西丘、南丘、北丘、東泉丘
中部： 桜塚、南桜塚、克明、熊野田、泉丘
- 第3ブロック) 中東部： 緑地、北条、小曾根、寺内、豊南、高川
中西部： 原田、中豊島、豊島北、豊島西、豊島
- 第4ブロック) 南部： 庄内、島田、野田、庄内西、庄内南、千成

(5) 集計結果

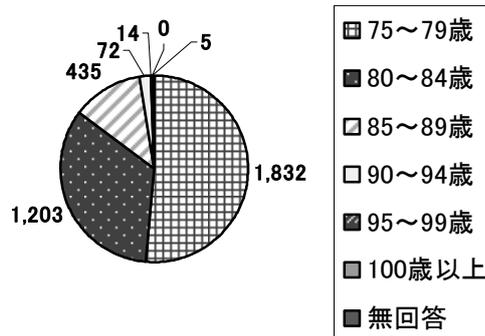
①男女比

回答数の男性が2割、女性が約8割



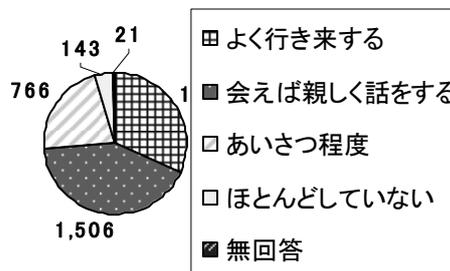
②年齢

回答数の51%は75才以上79才未満、
続いて34%が80才以上84才未満、
95才以上の世帯も14名いる。



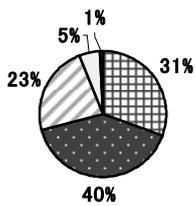
③近所づきあいの度合い

「よく行き来する」が全体の3割、
「親しく話をする」を加えると
約7割になる。

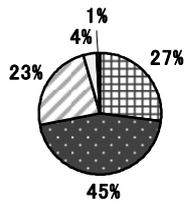


(③ブロック別集計)

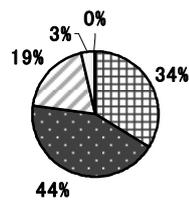
(第1ブロック)



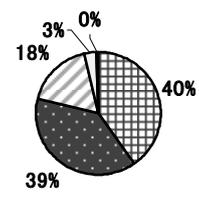
(第2ブロック)



(第3ブロック)

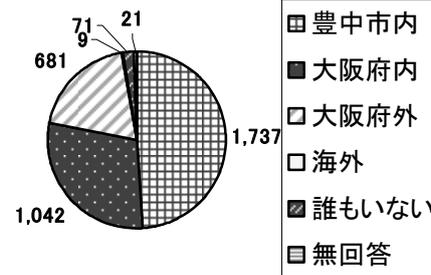


(第4ブロック)



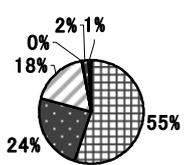
④もっとも身近にいる親戚

豊中市内と回答した人は49%、
大阪府内と回答した人は29%、
大阪府外や海外と回答した人は
全体で19%。誰もいない人が2%
71名いる。

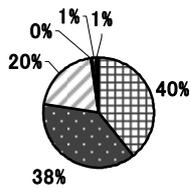


(④ブロック別集計)

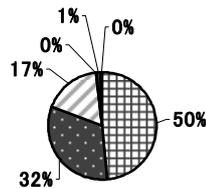
(第1ブロック)



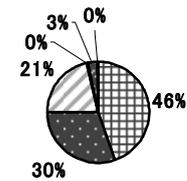
(第2ブロック)



(第3ブロック)



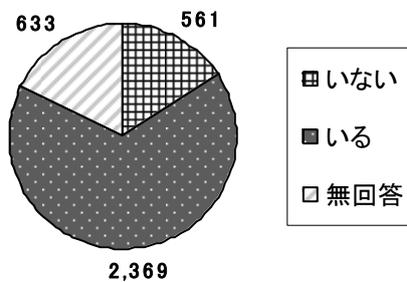
(第4ブロック)



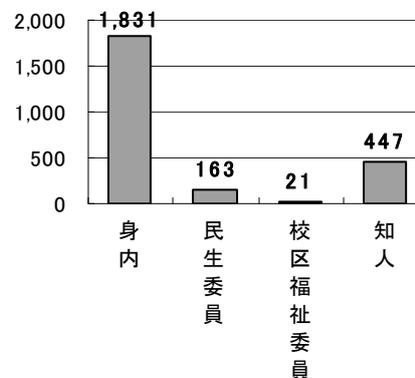
⑤緊急時援助してくれる人が全くいない人

誰もいないと回答した人は全体の16% 561人いる。また、いると回答した人の中で
親戚知人に続いて民生委員と挙げた人も163名いる。

緊急時に支援してくれる人

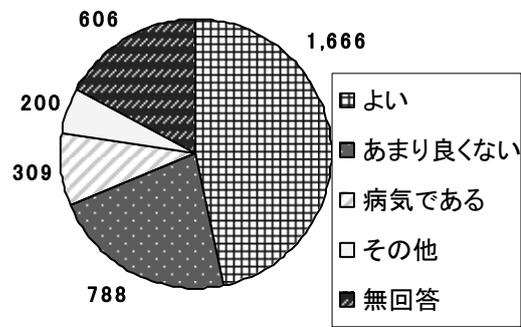


援助をしてくれる人



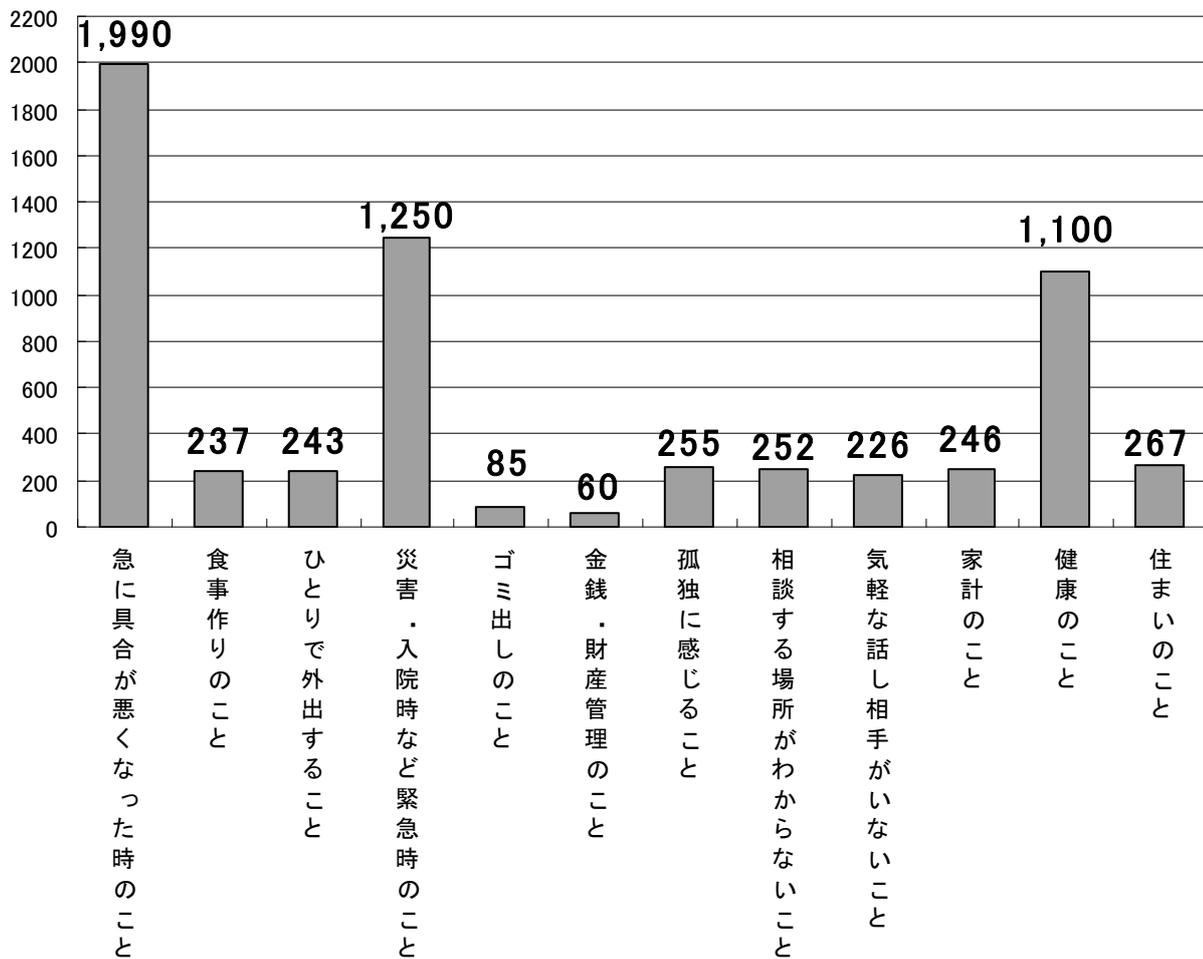
⑥健康状態

「よい」と回答した人は全体の47%、
「あまり良くない」と「病気である」を
合わせると30%となる。

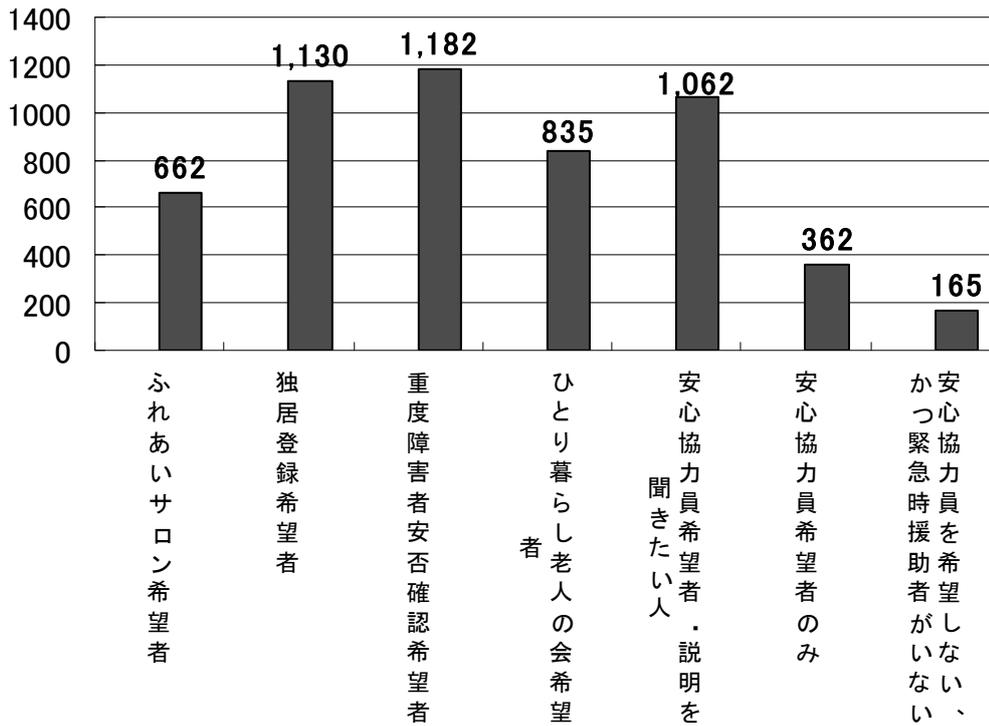


⑦ひとり暮らしの生活の中で不安に思っていること

急に具合が悪くなった時のこと、災害・入院時など緊急時のこと、健康のことに不安を感じている人が目立った。

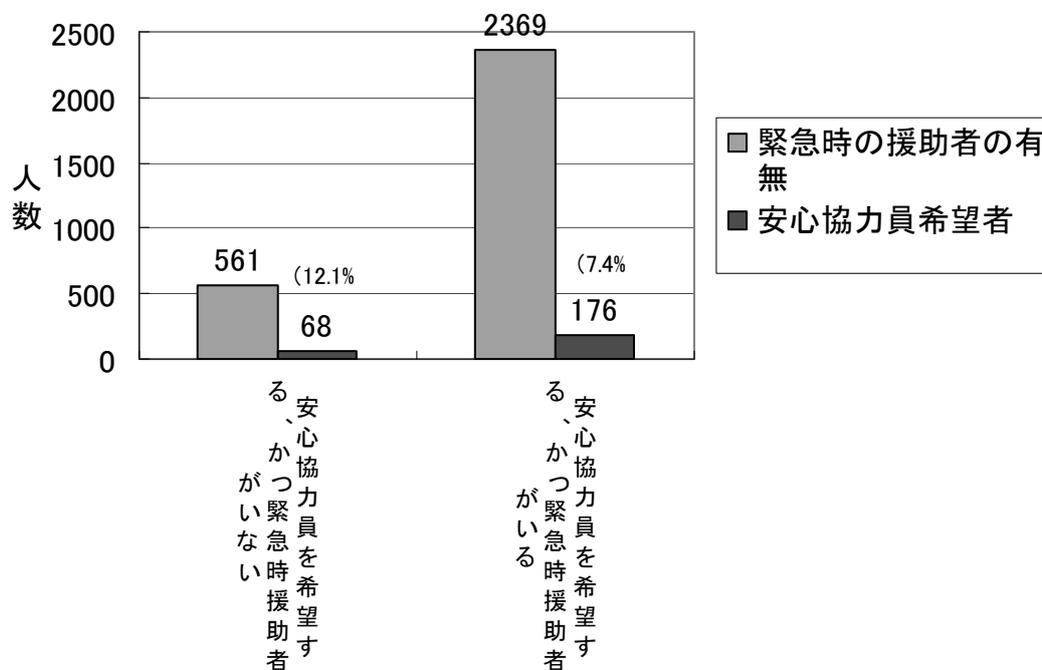


⑧制度サービスの希望状況



⑨緊急時援助者の有無と安心協力員希望者の割合

緊急時援助者がいない人で安心協力員を希望する人の割合は 12.1%、緊急時援助者がいる人で安心協力員を希望する人の割合は 7.4%である。



(6) 校別集計表全体

平成22年1月27日現在

ブロック	圏域	校区名	配布数	有効 回答数	回答率	ふれあ いサロ ン希望 者	独居登 録希望 者	重度障 害者安 否確認 希望者	独居入 会希望 者	安心協 力員希 望者及 び説明 を聞き たい人	安心 協 力員希 望者の み	安心協力 員を希望 せず、緊 急時援助 者がいな い人
第1ブロック	北西部	大池	258	133	51.6%	23	35	43	24	43	20	5
		刀根山	273	104	38.1%	21	25	30	23	27	7	5
		桜井谷 (桜井谷・桜井谷東)	256	139	54.3%	23	41	43	32	40	17	8
		蛸池	181	96	53.0%	23	29	32	22	27	6	4
		箕輪	64	44	68.8%	7	20	21	14	11	3	3
	合計	1032	516	50.0%	97	150	169	115	148	53	25	
	北中部	野畑	184	89	48.4%	10	21	25	20	28	14	2
		上野	248	118	47.6%	18	41	33	27	35	8	6
		少路・北緑丘	204	99	48.5%	14	39	39	38	30	5	4
		東豊中	134	71	53.0%	15	24	21	20	22	6	3
		東豊台	141	90	63.8%	20	32	36	25	27	8	2
合計	911	467	51.3%	77	157	154	130	142	41	17		
第2ブロック	北東部	上新田 (新田・新田南)	165	88	53.3%	14	22	35	20	29	7	3
		東丘	177	114	64.4%	21	30	34	21	34	15	8
		西丘	116	69	59.5%	11	17	16	7	13	5	2
		南丘	129	76	58.9%	16	29	30	20	28	9	4
		北丘	176	108	61.4%	33	43	49	29	36	12	9
	東泉丘	110	81	73.6%	12	25	31	17	23	8	7	
	合計	873	536	61.4%	107	166	195	114	163	56	33	
	中部	桜塚	137	81	59.1%	15	25	22	23	20	5	9
		南桜塚	193	156	80.8%	34	47	47	33	48	17	13
		克明	211	130	61.6%	20	43	46	28	40	16	4
		熊野田	134	66	49.3%	9	20	23	12	19	7	2
泉丘		113	78	69.0%	13	24	25	16	26	10	2	
合計	788	511	64.8%	91	159	163	112	153	55	30		
第3ブロック	中東部	緑地	159	68	42.8%	11	23	21	19	16	7	2
		北条	125	62	49.6%	15	20	20	14	16	3	5
		小曾根	93	52	55.9%	10	22	18	13	17	8	4
		寺内	113	60	53.1%	10	22	17	13	17	7	2
		豊南	203	102	50.2%	15	35	36	23	32	11	8
	高川	109	66	60.6%	11	18	22	9	14	6	1	
	合計	802	410	51.1%	72	140	134	91	112	42	22	
	中西部	原田	271	108	39.9%	20	41	35	21	35	10	5
		中豊島	266	119	44.7%	35	41	44	36	34	11	2
		豊島北	176	96	54.5%	21	29	30	27	28	8	5
		豊島西	74	37	50.0%	8	15	13	9	13	5	1
豊島		341	121	35.5%	21	28	32	24	33	12	3	
合計	1128	481	42.6%	105	154	154	117	143	46	16		
第4ブロック	南部	庄内	307	158	51.5%	29	58	55	46	52	19	5
		島田	171	84	49.1%	21	26	25	22	22	7	3
		野田	275	167	60.7%	17	46	47	28	45	12	9
		庄内西	165	86	52.1%	18	27	35	28	35	11	2
		庄内南	172	91	52.9%	15	34	35	21	28	10	3
		千成	110	55	50.0%	13	13	16	11	19	10	0
	合計	1200	641	53.4%	113	204	213	156	201	69	22	
総合計	6734	3562	52.9%	662	1130	1182	835	1062	362	165		
全体に対する%						18.6%	31.7%	33.2%	23.4%	29.8%	10.2%	4.6%

※独居登録、重度障害者安否確認、独居入会は「希望する」「説明を聞きたい」を含む

(7) 調査のまとめ

本調査は豊中市内に住む、ひとり暮らしの75歳以上高齢者を対象に行われた。対象者6,734人に質問紙を郵送し、3,562人の有効回答(回収率52.9%)を得た。集計結果の中から、以下3点に注目したい。

第一に、回答者の7割以上が、となり近所との間で、比較的良好なつきあいを持っている。「となり近所とのつきあいはどうしていますか」という問いに対し、「近所の仲の良い人とよく行き来している」という回答は31.7%、「会えば親しく話をする人がいる」という回答は42.3%で、両者を合わせると7割を超える。「近所付き合いをほとんどしていない」という回答は4%であった。

第二に、回答者の8割弱において、身近な親戚が豊中市内または大阪府内に住んでいる。「最も身近な親戚が住んでいる場所はどちらですか」という問いに対し、「豊中市内」が48.8%、「大阪府内」が29.3%という回答であり、両者を合わせると78.1%である。

回答者の多くは、近所つきあいもあり、近距離に身近な親戚がありながら、ひとり暮らしの不安を抱えていることが、第三に注目すべき点である。「ひとり暮らしの生活のなかで、不安に思っていることは何ですか(複数回答可)」に対して、最も多かった回答は「急に具合が悪くなったりした時のこと」(55.9%)で、次に「災害・入院時などの緊急時のこと」(35.1%)と続く。つまり、親戚とのプライベートな関係、近所の人たちとのインフォーマルなつながりだけでは、ひとり暮らしの不安を解消することができないということがわかる。緩やかなルールと一定の契約関係のもとで実施される「安心生活創造事業」の必要性が伺える結果である。

さらに本調査は、調査に回答すること自体が、ひとり暮らし高齢者が地域社会とのつながりをつくるきっかけとなった。「豊中市の下記の制度をご存知ですか。また希望されますか」という問いに対し、「災害時重度障害者等安否確認登録制度」には1,182人(33.2%)「ひとり暮らし高齢者の登録制度」には1,130人(31.7%)、「ひとり暮らし老人会」には835人(23.4%)もの登録希望があったことは驚く結果である。この結果に対しては、すでに各地区の民生・児童委員等が訪問活動を通じてフォローアップを開始している。また「安心生活創造事業の説明を聞きたい」という人は、同事業の利用希望と合わせて、1,062人(29.8%)であり、事業開始前にもかかわらず、同事業への関心の高さがうかがえる。

残念ながら、本調査では、本調査に回答していない約3,000人のひとり暮らし高齢者の状況が把握できない。今後の取り組みとして、この層を決して無視することはできず、引き続き、地道な活動や広報を通じて、そのニーズ把握に取り組む必要がある。

3. 安心協力員養成研修

(1) 日程

	年月日	内容	参加者数
1	21.12.8	全体研修会	400 人
2	21.12.15	成年後見制度について	101 人
3		豊中市の福祉サービス	101 人
4		地域福祉計画について	101 人
5	22.1.12	地域福祉の現状・一人暮らしを支える地域活動	101 人
6		地域包括支援センターの役割	99 人
7		介護相談員派遣事業	98 人
8	22.2.3	日常生活自立支援事業・生活支援サービス	100 人
9		ホームヘルプサービスの実際	99 人
10	22.2.9	高齢者虐待について・認知症の理解	107 人
11		民生・児童委員の活動	106 人
12		悪質商法対策について	105 人
13	22.2.17	グループワーク・共感的理解・受容・傾聴	108 人
14		個人情報保護について	106 人
15		安心協力員の手引き説明会・修了証書授与	105 人

※講義欠席分については、別途レポート提出をもって代替した。

(2) 参加者数

申込者数 134 人

修了者数 114 人

登録者数 107 人

(3) 安心協力員ニュース

年5回発行、各 150 部

(4) 安心協力員交流会

①日時

平成 22 年 3 月 15 日(月)11:30～12:30

②場所

豊中市すこやかプラザ 2 階会議室

③参加者数

72 名

④内容

ひとり暮らし高齢者アンケートの調査報告など

4. 安心協力員派遣事業コーディネーター

(1) 制度の内容

①概要

普段は元気に暮らしているが、近くに身内や知り合いがなく、病気などの緊急時に不安を抱える世帯を対象に、地域福祉コーディネーター(社協職員)が聞きとり調査を行い、一定の研修を修了した安心協力員を派遣する。安心協力員は、定期訪問を行い、顔なじみになりながら、地域の情報やひとり暮らし向けの事業の紹介などを行なう。(北東部と南部がモデル地区)

②対象

市内在住の75歳以上、一人暮らしで、介護保険の要介護認定の申請を行っていない方

③登録料

年間2,000円

④基本サービス

月1回の定期訪問(1回800円、地域福祉活動や公的サービスの紹介など情報提供を行う)

⑤有料サービス(必要に応じて)

- ・急病時の緊急の買物のお手伝い
- ・入院時の手続きや連絡の手助け
- ・緊急通報システム利用時の鍵預かり

⑥利用者(平成22年3月31日現在)

- ・北東部 5名
- ・南部 5名

5. ひとり暮らし応援事業者ネットワーク会議

(1) 参画団体 22社 (順不同)

(平成22年1月28日現在)

(株)セブン-イレブン・ジャパン	(株)ローソン	(株)ファミリーマート
吹田ヤクルト販売株式会社	郵便事業株式会社 豊中支店・豊中南支店	大阪北生活協同組合
関西電力株式会社 三国営業所	大阪ガス株式会社 北東リビング営業部	大阪府電機商業組合 豊中支部
大阪府小売酒販組合 豊能第2部会	豊中乳業商業組合	イオン豊中緑丘ショッピング センター
(株)阪食	豊中市小売市場連合会	豊中市商店会連合会
豊中市介護保険事業者連絡 会	大阪米穀小売商業組合 豊中支部	毎日新聞豊中販売所
産経新聞 桜塚・岡町・曾根・ 服部西販売所	ASA 豊中西(大阪府北部 朝日会豊中ブロック会)	豊中市在店の 「読売センター」
豊中市上下水道局		

(2) 会議

年月日	参加者数	内容
22.1.28	38名	<ul style="list-style-type: none"> ・安心生活創造事業の趣旨説明 ・豊中市における安心生活創造事業の展開について ・見守り等協力内容のアンケート依頼 ・意見交換

6. イメージイラスト・シンボルマークの募集

(1) 公募期間

2月23日～3月19日

(2) 応募総数

8点

7. 広報、啓発

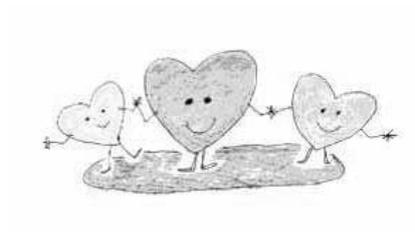
- ・安心生活創造事業のご案内
- ・安心協力員募集チラシ
- ・豊中市安心生活創造事業～全体研修会～
- ・安心協力員養成研修テキスト
- ・安心協力員ニュースNo.1～No.5
- ・安心協力員派遣事業のご案内
- ・安心協力員派遣サービス利用申込書
- ・安心協力員活動の手引き
- ・安心協力員登録申込書
- ・活動報告書
- ・安心生活創造事業 見守りイメージイラスト募集チラシ
- ・ひとり暮らし応援事業者パンフレット&クリアファイル
- ・ひとり暮らし応援事業者ステッカー
- ・ひとり暮らし高齢者などを支援する募金箱

8. 事業趣旨説明

- ①健康福祉審議会
- ②市社協理事会
- ③市社協評議員会
- ④豊中市第1地区・第2地区・第3地区・第4地区 民生・児童委員協議会
- ⑤地域福祉ネットワーク会議 7ヶ所
- ⑥高齢部会 7ヶ所
- ⑦校区福祉委員会
- ⑧企業団体ボランティアネットワーク

資 料

- ・ 豊中市安心生活創造事業ご案内
- ・ ひとり暮らし高齢者アンケート送り状
- ・ ひとり暮らし高齢者アンケート
- ・ 安心協力員派遣サービスについて
- ・ ひとり暮らし高齢者の方々へのご案内
- ・ 豊中市安心生活創造事業～全体研修会～
- ・ 安心協力員を募集します！
- ・ 安心協力員派遣サービスのご案内
- ・ 安心協力員派遣サービス利用申込書(豊中市安心生活創造事業利用申込書)(様式第1号)
- ・ 活動報告書
- ・ 豊中市安心生活創造事業利用決定通知書(様式第2号)
- ・ 豊中市安心生活創造事業利用停止・廃止通知書(様式第3号)
- ・ 安心協力員活動の手引き
- ・ 安心協力員登録申込書
- ・ 安心協力員ニュース No.1～No.5
- ・ 安心生活創造事業見守りイメージイラスト募集
- ・ あすの地域福祉を考える市民の集い
- ・ 募金箱イメージ図
- ・ ひとり暮らし応援事業者ステッカー
- ・ ひとり暮らし応援事業者ネットワーク会議 参加事業者のための協力活動の手引き
- ・ 安心生活創造事業の歩み
- ・ 新聞記事抜粋
- ・ 平成21年度 安心生活創造事業推進委員会名簿



発 行

平成22（2010）年3月

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

〒560-0023 豊中市岡上の町2-1-15

（豊中市すこやかプラザ内）

電 話（06）6848-1279

FAX（06）6841-2388